



News Release

2023年10月26日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所

シーズン初めの石油ストーブ安全大作戦 ～5つのポイントで火災事故を防ごう！～

1. 事故の発生状況

2018年度から2022年度の5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県で石油ストーブ及び石油ファンヒーター（以下、石油ストーブ等という）による事故は合計14件^{※2}ありました。

(1) 県別および年別事故発生件数（表1）

表1 石油ストーブ等の県別および年度別事故発生件数（2018～2022年度）（単位：件）

事故発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2018	1	1							2
（内数）火災	(1)	(1)							(2)
2019	1	1	1			1			4
（内数）火災	(1)	(1)	(0)			(1)			(3)
2020	1		2		1				4
（内数）火災	(1)		(2)		(1)				(4)
2021	2			1					3
（内数）火災	(2)			(1)					(3)
2022	1								1
（内数）火災	(1)								(1)
合計	6	2	3	1	1	1	0	0	14
（内数）火災	(6)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(13)

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 石油ストーブ等の県別および被害状況別事故発生件数（2018～2022年度）^{※3}（単位：件）

被害状況	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	1							1
	重傷	1							1
	軽傷		1			1			2
物的被害	拡大被害	4	1	2	1	1			9
	製品破損			1					1
被害なし・不明									0
合計	6	2	3	1	1	1	0	0	14
合計（火災事故）	(6)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(13)

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. 事故事例

(1) 石油ストーブ（開放式、反射形）：2019年4月（長崎県、40歳代、女性、製品破損）

【事故の内容】

石油ストーブを消火時に異音がして出火した。

【事故の原因】

事故品のしんがやせ細って極端に短くなった状態で使用されていたため、消火時（しん降下時）にしんの火種が消えきらず、油受皿内に滞留していた気化灯油に引火したものと推定される。なお、当該製品は約30年前に販売を終了しており、取扱説明書には、「しんは消耗品である。消火しない等の現象が発生した場合に処置できない時は販売店や相談窓口にお問い合わせる。」旨、記載されている。

(2) 石油ストーブ（開放式）：2020年9月（長崎県、70歳代、女性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の石油ストーブから出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

事故品の内部より出火した痕跡が認められなかったことから、事故品の上方に干していた洗濯物が事故品の上に落下して火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「衣類の乾燥厳禁。衣類などの乾燥には使用しない。衣類が落下して火がつき、火災の原因になる。」旨、記載されている。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
独立行政法人製品評価技術基盤機構
九州支所 担当者 清水
電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329